

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月30日

上場会社名 日本精工株式会社
 コード番号 6471 URL <http://www.nsk.com>
 代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 朝香 聖一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役常務財務本部長 (氏名) 斉藤 佳男
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月8日

上場取引所 東大

TEL 03-3779-7060

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	191,462	—	15,262	—	16,182	—	9,614	—
20年3月期第1四半期	182,853	5.1	14,794	0.1	14,441	5.1	8,756	4.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	17.78	17.78
20年3月期第1四半期	16.20	16.19

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	851,974	310,898	34.6	545.21
20年3月期	828,580	283,775	32.3	495.61

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 294,738百万円 20年3月期 267,913百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	9.00	—	10.00	19.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	380,000	—	31,500	—	29,500	—	19,500	—	36.07
通期	800,000	3.6	71,000	2.4	67,000	3.3	44,000	3.3	81.39

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 551,268,104株 20年3月期 551,268,104株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 10,672,147株 20年3月期 10,690,649株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 540,591,965株 20年3月期第1四半期 540,414,627株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のグローバル経済は、原油・原材料価格の高騰や米国サブプライムローンを発端とする金融不安の実体経済への波及により、減速傾向となりました。日本は、個人消費が伸び悩み、企業部門も輸出や生産が弱含みで推移し、設備投資が横ばいになるなど、景気回復は足踏み状態となりました。米国は、住宅投資の減少に加え、生産や設備投資も弱い動きとなり、景気後退が懸念される状況となりました。欧州はユーロ圏や英国の景気回復は緩やかなものとなりました。アジアは、中国、台湾、シンガポール等で景気拡大が続きしました。

当社グループの事業領域におきましては、半導体関連向けの需要低迷や日本、北米、西欧等での自動車販売減少の影響は受けておりますが、中国・インド等新興市場での受注拡大や、産業機械軸受分野での資源・エネルギー関連の受注増加により、世界各地の工場は概ね高水準の生産を続けました。

このような状況のもとで、当社グループは中期ビジョン「トータル・クオリティーにおいて業界No.1の会社になる」ことの達成に向け、体質強化を徹底し、リスクへの対応力を高めるとともに、製品品質や業務品質の向上に取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,914億62百万円と前年同期に比べ4.7%の増収となりました。営業利益は、円高による輸出採算の悪化や原材料のコストアップを、売上・生産の拡大による物量増効果や外部調達コストの削減などではね返し、152億62百万円と前年同期に比べ3.2%の増益となりました。経常利益は161億82百万円と前年同期に比べ12.1%の増益となりました。

特別利益に固定資産売却益4億89百万円を計上し、税金費用及び少数株主利益を差し引いた後の四半期純利益は96億14百万円と、前年同期に比べ9.8%の増益となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

①産業機械軸受

一般産業向けの売上高は、日本では鉄鋼、工作機械や建設機械向けが好調でした。米州は一般機械、建設機械向けに加え電機向けも増加しました。欧州は風力発電向け、工作機械向けやアフターマーケット向けが大幅に増加しました。アジア地域では、中国の電機、工作機械、一般機械向けやインド向けが大幅に増加しました。

この結果、産業機械軸受の売上高は606億52百万円（前年同期比+7.2%）となりました。営業利益は、円高による輸出採算の悪化、生産能力増強に伴う設備費や労務費の増加を物量増効果や売価値上げではね返し、81億98百万円（前年同期比+12.0%）となりました。

②自動車関連製品

自動車軸受の売上高は、日本では、オートマチック・トランスミッション向けの拡販や需要増により、玉軸受やニードル軸受が増加しました。米州は、ブラジルの二輪車向けが好調でしたが、米国自動車メーカーの生産減少の影響もあり、横ばいとなりました。欧州はハブユニット軸受が増加しました。アジアは、中国のハブユニット軸受や小形円すいころ軸受が増加しました。

自動車部品の売上高は、日本では、拡販により電動パワーステアリングやオートマチック・トランスミッション用部品が増加しました。米州は、採用車種の生産終了によりステアリングコラムが減少しました。欧州は、拡販により電動パワーステアリングが増加しました。アジアは、タイや中国のステアリングコラムが増加しました。

この結果、自動車関連製品の売上高は1,079億57百万円（前年同期比+4.6%）となりました。営業利益は、物量増や外部調達コスト削減の効果はありましたが、円高による輸出採算の悪化、原材料のコストアップ、販管費の増加などにより61億26百万円（前年同期比△2.6%）となりました。

③精密機器関連製品

グローバルに工作機械向けが堅調に推移し、米州やアジアでの拡販も加わり、ボールねじを中心に直動製品の売上が増加しましたが、液晶・半導体製造装置向け需要低迷の影響を受け、メカトロ製品や液晶パネル用露光装置の売上が減少しました。

この結果、精密機器関連製品の売上高は149億4百万円（前年同期比△9.1%）となりました。営業利益は、生産・販売の減少により14億5百万円（前年同期比△22.8%）となりました。

④その他

その他部門の売上高は、外部顧客向け鋼球の増加などにより141億76百万円（前年同期比+15.6%）となりました。営業利益は、物量増効果などにより9億43百万円（前年同期比+64.2%）となりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

産業機械軸受の売上高は、鉄鋼向け、工作機械向けや建設機械向けが増加しました。自動車関連製品は、軸受は、オートマチック・トランスミッション向けの拡販や需要増により、玉軸受やニードル軸受が増加しました。自動車部品は、拡販により電動パワーステアリングやオートマチック・トランスミッション用部品が増加しました。精密機器関連製品は、工作機械向けは堅調に推移しましたが、半導体関連向けが減少しました。

この結果、日本の売上高は1,386億7百万円（前年同期比+7.1%）となりました。営業利益は、物量増効果はありましたが、円高による輸出採算の悪化、原材料のコストアップ、退職給付費用や販売管理費の増加などにより89億21百万円（前年同期比△15.0%）となりました。

②米州

産業機械軸受の売上高は、米州は一般機械、建設機械向けや電機向けが増加しました。自動車関連製品は、軸受はブラジルの二輪車向けは好調でしたが、米国自動車メーカーの生産減少の影響もあり、横ばいとなりました。自動車部品の売上高は、採用車種の生産終了によりステアリングコラムが減少しました。精密機器関連製品は工作機械向けが増加したものの半導体関連向けが減少しました。

ドル安による円換算額が目減りもあり、米州の売上高は247億7百万円（前年同期比△10.5%）となりました。営業利益は、原材料のコストアップや販売管理費の増加などにより7億93百万円（前年同期比△11.3%）となりました。

③欧州

産業機械軸受の売上高は、風力発電向け、工作機械向けやアフターマーケット向けが大幅に増加しました。自動車関連製品は、軸受はハブユニット軸受が増加しました。自動車部品は拡販により電動パワーステアリングが増加しました。精密機器関連製品は工作機械向けが増加しました。

この結果、欧州の売上高は373億98百万円（前年同期比+11.7%）となりました。営業利益は、物量増効果や外部調達コストの削減などにより35億5百万円（前年同期比+85.6%）となりました。

④アジア

産業機械軸受の売上高は、中国の電機、工作機械や一般機械向け、インド向けなどが大幅に増加しました。自動車関連製品は、軸受は中国のハブユニット軸受や小形円すいころ軸受が増加し、自動車部品は、タイや中国のステアリングコラムが増加しました。精密機器関連製品は、韓国、中国、台湾の直動製品が増加しましたが、台湾の液晶パネル用露光装置が減少しました。

この結果、アジアの売上高は296億77百万円（前年同期比+10.6%）となりました。営業利益は、物量増効果などにより32億45百万円（前年同期比+15.4%）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

総資産は、現金及び預金、受取手形及び売掛金、有形固定資産の増加等により、前連結会計年度末と比べて233億93百万円増加し、8,519億74百万円となりました。

負債は、短期借入金の増加がありましたが、1年内償還予定の社債の減少等により、前連結会計年度末と比べて37億28百万円減少し、5,410億75百万円となりました。

(純資産)

純資産は、四半期純利益の計上、その他有価証券評価差額金及び為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末と比べて271億22百万円増加し、3,108億98百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益166億71百万円、減価償却費92億99百万円等による収入がありましたが、たな卸資産の増加90億82百万円、売上債権の増加74億4百万円、法人税等の支払67億49百万円等の支出により、129億13百万円の収入となりました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、成長が見込まれる分野への設備投資131億47百万円等により、129億3百万円の支出となりました。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の償還100億円、配当金の支払51億68百万円等により、138億98百万円の支出となりました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は1,001億14百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年3月期決算短信発表時(平成20年5月13日)に公表いたしました平成21年3月期連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)につきましては、変更ありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②たな卸資産については、従来、製品及び原材料は主として総平均法に基づく低価法、仕掛品は主として総平均法に基づく原価法、貯蔵品は移動平均法に基づく原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）が適用されたことに伴い、評価基準を原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

③「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号）を当第1四半期連結会計期間から適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

また、これにより利益剰余金は17,378百万円減少しておりますが、主なものは「評価・換算差額等」に表示していた「英国子会社等の退職給付債務処理累計額」のうち、一部を振替えたことによるものであります。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

	(単位：百万円)	
	当第1四半期 連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	72,934	66,259
受取手形及び売掛金	151,714	137,439
有価証券	31,837	51,600
製品	63,504	57,860
原材料及び貯蔵品	11,382	10,156
仕掛品	38,935	33,832
その他	46,362	48,488
貸倒引当金	△1,265	△1,223
流動資産合計	415,406	404,412
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	79,796	77,773
機械装置及び運搬具	134,921	125,577
その他	59,096	64,704
有形固定資産合計	273,814	268,055
無形固定資産	10,442	10,520
投資その他の資産		
投資有価証券	97,547	91,051
前払年金費用	44,066	43,830
その他	11,482	11,499
貸倒引当金	△785	△789
投資その他の資産合計	152,310	145,591
固定資産合計	436,567	424,167
資産合計	851,974	828,580

(単位：百万円)

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	131,691	130,966
短期借入金	90,253	84,787
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払法人税等	6,115	6,199
その他	63,002	62,364
流動負債合計	291,063	294,318
固定負債		
社債	127,000	127,000
長期借入金	43,565	42,625
退職給付引当金	30,719	36,592
役員退職慰労引当金	1,234	1,202
環境対策引当金	202	268
その他	47,289	42,795
固定負債合計	250,011	250,486
負債合計	541,075	544,804
純資産の部		
株主資本		
資本金	67,176	67,176
資本剰余金	78,313	78,304
利益剰余金	147,082	154,846
自己株式	△4,138	△4,134
株主資本合計	288,434	296,193
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	22,937	18,216
為替換算調整勘定	△16,633	△21,586
英国子会社等の退職給付債務処理累計額	—	△24,909
評価・換算差額等合計	6,304	△28,279
新株予約権	203	170
少数株主持分	15,956	15,690
純資産合計	310,898	283,775
負債純資産合計	851,974	828,580

(2) 四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

	(単位:百万円)
	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	191,462
売上原価	148,751
売上総利益	42,711
販売費及び一般管理費	27,448
営業利益	15,262
営業外収益	
受取利息	417
受取配当金	739
持分法による投資利益	1,058
その他	1,250
営業外収益計	3,465
営業外費用	
支払利息	1,546
その他	999
営業外費用計	2,545
経常利益	16,182
特別利益	
固定資産売却益	489
特別利益計	489
税金等調整前四半期純利益	16,671
法人税、住民税及び事業税	6,541
少数株主利益	515
四半期純利益	9,614

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	16,671
減価償却費	9,299
のれん償却額	171
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△26
退職給付引当金及び前払年金費用の増減額	△611
受取利息及び受取配当金	△1,156
支払利息	1,546
持分法による投資損益(△は益)	△1,058
有形固定資産売却損益(△は益)	△489
売上債権の増減額(△は増加)	△7,404
たな卸資産の増減額(△は増加)	△9,082
仕入債務の増減額(△は減少)	49
その他	8,987
小計	16,895
利息及び配当金の受取額	4,050
利息の支払額	△1,283
法人税等の支払額	△6,749
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,913
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の増減額(△は増加)	△318
有価証券の取得による支出	△3,500
有価証券の売却による収入	4,300
有形固定資産の取得による支出	△13,147
有形固定資産の売却による収入	809
投資有価証券の取得による支出	△436
投資有価証券の売却による収入	45
貸付けによる支出	△19
貸付金の回収による収入	34
その他	△670
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,903
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	436
長期借入れによる収入	1,364
長期借入金の返済による支出	△368
社債の償還による支出	△10,000
自己株式の取得による支出	△12
配当金の支払額	△5,168
少数株主への配当金の支払額	△336
その他	187
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,898
現金及び現金同等物に係る換算差額	775
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△13,112
現金及び現金同等物の期首残高	113,226
現金及び現金同等物の四半期末残高	100,114

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	産業機械 軸受 (百万円)	自動車 関連製品 (百万円)	精密機器 関連製品 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	60,652	107,957	14,904	7,947	191,462	—	191,462
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	6,228	6,228	(6,228)	—
計	60,652	107,957	14,904	14,176	197,690	(6,228)	191,462
営業利益	8,198	6,126	1,405	943	16,674	(1,411)	15,262

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	日 本 (百万円)	米 州 (百万円)	欧 州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	108,004	24,417	35,867	23,173	191,462	—	191,462
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	30,603	290	1,531	6,504	38,929	(38,929)	—
計	138,607	24,707	37,398	29,677	230,391	(38,929)	191,462
営業利益	8,921	793	3,505	3,245	16,465	(1,202)	15,262

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	米 州	欧 州	アジア	計
I 海外売上高（百万円）	24,897	36,230	34,816	95,944
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	191,462
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	13.0	18.9	18.2	50.1

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前第1四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 前四半期連結損益計算書

(単位 百万円)

科 目	前第1四半期 自平成19年4月1日 至平成19年6月30日
	金 額
売上高	182,853
売上原価	141,766
売上総利益	41,086
販売費及び一般管理費	26,292
営業利益	14,794
営業外収益	2,645
受取利息及び配当金	979
持分法による投資利益	918
雑益	746
営業外費用	2,997
支払利息	1,604
雑損	1,393
経常利益	14,441
特別損失	164
関係会社株式売却損	164
税金等調整前四半期純利益	14,277
法人税、住民税及び事業税	5,474
法人税等調整額	△511
少数株主利益	558
四半期純利益	8,756

(2) (要約) 前四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

科 目	前第1四半期
	自平成19年4月1日 至平成19年6月30日
	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1.税金等調整前四半期純利益	14,277
2.減価償却費	9,042
3.のれん償却額	176
4.貸倒引当金の増減額(減少:△)	△302
5.退職給付引当金及び前払年金費用の増減額	△1,427
6.受取利息及び受取配当金	△979
7.支払利息	1,604
8.持分法による投資利益	△918
9.関係会社株式売却損	164
10.売上債権の増減額(増加:△)	2,603
11.棚卸資産の増減額(増加:△)	1,202
12.仕入債務の増減額(減少:△)	△259
13.その他の	1,251
小 計	26,434
14.利息及び配当金の受取額	1,748
15.利息の支払額	△1,537
16.法人税等の支払額	△11,709
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,936
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1.定期預金の純増減額(増加:△)	109
2.有価証券の売却による収入	1,400
3.有形固定資産の取得による支出	△8,210
4.有形固定資産の売却による収入	365
5.投資有価証券の取得による支出	△1,348
6.貸付金の貸付による支出	△77
7.貸付金の回収による収入	36
8.その他の	△680
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,405
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1.短期借入金の純増減額(減少:△)	2,307
2.長期借入金の返済による支出	△258
3.社債の償還による支出	△10,000
4.自己株式の取得による支出	△38
5.配当金の支払額	△4,600
6.少数株主への配当金の支払額	△245
7.その他の	6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,828
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	935
V 現金及び現金同等物の増減額	△5,362
VI 現金及び現金同等物の期首残高	73,319
VII 連結子会社の決算期変更による増加高	726
VIII 現金及び現金同等物の期末残高	68,682

(3) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

	産業機械 軸受 (百万円)	自動車 関連製品 (百万円)	精密機器 関連製品 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	56,562	103,221	16,393	6,675	182,853	—	182,853
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	5,583	5,583	(5,583)	—
計	56,562	103,221	16,393	12,259	188,437	(5,583)	182,853
営業費用	49,242	96,933	14,572	11,684	172,431	(4,372)	168,059
営業利益	7,320	6,288	1,821	574	16,005	(1,211)	14,794

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

	日本 (百万円)	米州 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	102,318	27,407	31,703	21,424	182,853	—	182,853
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	27,125	196	1,791	5,412	34,526	(34,526)	—
計	129,444	27,604	33,494	26,836	217,379	(34,526)	182,853
営業費用	118,945	26,709	31,605	24,025	201,285	(33,226)	168,059
営業利益	10,499	895	1,888	2,811	16,094	(1,300)	14,794

【海外売上高】

前第1四半期(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

	米州	欧州	アジア	計
I 海外売上高(百万円)	27,998	31,807	32,194	92,000
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	182,853
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	15.3	17.4	17.6	50.3

平成21年3月期 第1四半期決算短信 補足説明資料

1. 決算概要(連結)

(単位:百万円)	平成20年3月期					平成21年3月期	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期	第1四半期	対前年同期比
売上高	182,853	186,473	198,705	204,005	772,036	191,462	104.7%
営業利益	14,794	16,782	18,281	19,486	69,343	15,262	103.2%
経常利益	14,441	14,927	18,344	17,142	64,854	16,182	112.1%
税引前四半期(当期)純利益	14,277	15,086	18,344	15,906	63,613	16,671	116.8%
四半期(当期)純利益	8,756	8,945	12,160	12,752	42,613	9,614	109.8%
一株当り四半期(当期)純利益(円)	16.20	16.55	22.50	23.59	78.84	17.78	—
連結子会社数(社)	82	84	84	87		89	—
国内	22	22	22	23		23	—
海外	60	62	62	64		66	—
期末従業員数(人)	23,661	24,211	24,587	25,069		25,836	—
国内	10,623	10,533	10,609	10,695		11,270	—
海外	13,038	13,678	13,978	14,374		14,566	—

<予想>

(単位:百万円)	平成21年3月期					
	上期予想	対前年同期比	下期予想	対前年同期比	通期予想	対前期比
売上高	380,000	102.9%	420,000	104.3%	800,000	103.6%
営業利益	31,500	99.8%	39,500	104.6%	71,000	102.4%
経常利益	29,500	100.4%	37,500	105.7%	67,000	103.3%
税引前当期(四半期)純利益	29,500	100.5%	37,500	109.5%	67,000	105.3%
当期(四半期)純利益	19,500	110.2%	24,500	98.3%	44,000	103.3%

平成20年3月期決算短信発表時(平成20年5月13日)に公表いたしました平成21年3月期連結業績予想につきましては、変更ありません。

2. 事業の種類別セグメント売上高

(単位:百万円)	平成20年3月期					平成21年3月期	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期	第1四半期	対前年同期比
産業機械軸受	56,562	58,214	61,624	62,656	239,056	60,652	107.2%
自動車関連製品	103,221	105,839	113,348	113,297	435,705	107,957	104.6%
精密機器関連製品	16,393	15,453	16,229	20,111	68,186	14,904	90.9%
その他	12,259	12,259	16,436	15,273	56,227	14,176	115.6%
消去	△ 5,583	△ 5,293	△ 8,930	△ 7,334	△ 27,140	△ 6,228	—
合計	182,853	186,473	198,705	204,005	772,036	191,462	104.7%

<予想>

(単位:百万円)	平成21年3月期					
	上期予想	対前年同期比	下期予想	対前年同期比	通期予想	対前期比
産業機械軸受	122,000	106.3%	133,000	107.0%	255,000	106.7%
自動車関連製品	213,000	101.9%	230,000	101.5%	443,000	101.7%
精密機器関連製品	31,500	98.9%	42,500	117.0%	74,000	108.5%
その他	27,000	110.1%	28,000	88.3%	55,000	97.8%
消去	△ 13,500	—	△ 13,500	—	△ 27,000	—
合計	380,000	102.9%	420,000	104.3%	800,000	103.6%

3. 事業の種類別セグメント営業利益

(単位:百万円)	平成20年3月期					平成21年3月期	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期	第1四半期	対前年同期比
産業機械軸受	7,320	8,205	8,942	9,022	33,489	8,198	112.0%
自動車関連製品	6,288	7,652	8,402	8,318	30,660	6,126	97.4%
精密機器関連製品	1,821	2,014	1,918	2,867	8,620	1,405	77.2%
その他	574	433	960	872	2,839	943	164.2%
消去又は全社	△ 1,211	△ 1,520	△ 1,943	△ 1,592	△ 6,266	△ 1,411	—
合計	14,794	16,782	18,281	19,486	69,343	15,262	103.2%

<予想>

(単位:百万円)	平成21年3月期					
	上期予想	対前年同期比	下期予想	対前年同期比	通期予想	対前期比
産業機械軸受	16,500	106.3%	19,500	108.6%	36,000	107.5%
自動車関連製品	13,000	93.3%	15,500	92.7%	28,500	93.0%
精密機器関連製品	4,000	104.3%	6,000	125.4%	10,000	116.0%
その他	1,000	99.3%	1,500	81.9%	2,500	88.1%
消去又は全社	△ 3,000	—	△ 3,000	—	△ 6,000	—
合計	31,500	99.8%	39,500	104.6%	71,000	102.4%

4. 設備投資、減価償却費

(単位:百万円)	平成20年3月期					平成21年3月期	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期	第1四半期	対前年同期比
設備投資	8,247	12,101	13,789	19,768	53,905	11,244	136.3%
減価償却費	9,042	9,207	9,755	10,376	38,380	9,299	102.8%

<予想>

(単位:百万円)	平成21年3月期					
	上期予想	対前年同期比	下期予想	対前年同期比	通期予想	対前期比
設備投資					45,000	83.5%
減価償却費					40,000	104.2%

(注1)設備投資額の平成21年3月期予想は、有形固定資産のみへの投資額。
(注2)減価償却費の平成21年3月期予想は、有形固定資産のみの減価償却費。

5. 研究開発費

(単位:百万円)	平成20年3月期					平成21年3月期	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期	第1四半期	対前年同期比
研究開発費	2,318	2,676	2,482	2,764	10,240	2,541	109.6%

<予想>

(単位:百万円)	平成21年3月期					
	上期予想	対前年同期比	下期予想	対前年同期比	通期予想	対前期比
研究開発費					10,500	102.5%

6. 為替換算レート

(単位:円)	平成20年3月期					平成21年3月期	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期	第1四半期	通期想定
期中平均レート							
US \$	120.72	118.12	113.24	106.12	114.55	104.40	100.00
ユーロ	162.61	162.06	164.47	159.75	162.22	163.12	155.00

(単位:円)	平成20年3月期					平成21年3月期	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期	第1四半期	通期想定
期末レート							
US \$	123.26	115.43	114.15	100.19	100.19	106.42	100.00
ユーロ	165.64	163.38	166.66	158.19	158.19	168.07	155.00

以上